

第124期

中間

事業

報告書



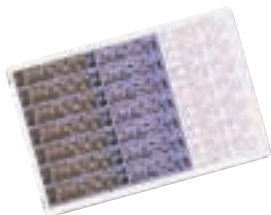
INDUSTRIAL
PRODUCTS

TABLETOP



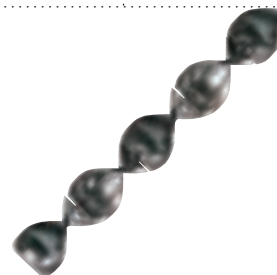
平成16年4月1日～平成16年9月30日

CERAMICS &
MATERIALS



ELECTRONICS

ENVIRONMENTAL
ENGINEERING



株式会社

ノリタケ カンパニー リミテド

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より株式会社ノリタケカンパニーリミテドをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、当ノリタケグループの平成16年度連結中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の経営成績についてご報告申し上げます。

当連結中間期の連結売上高は、589億5千1百万円（前年同期比6.6%増加）、連結経常利益は、36億7千万円（前年同期比66.4%増加）、連結中間純利益は、20億5千7百万円（前年同期比99.3%増加）となり、連結売上高、連結経常利益及び連結中間純利益ともに、前年同期を上回ることができました。

（平成16年度連結中間期の営業概況と下半期の事業方針）

次に、当中間期におけるノリタケグループの事業セグメント別の営業概況及び下半期（平成16年10月1日から平成17年3月31日まで）の事業方針についてご報告申し上げます。

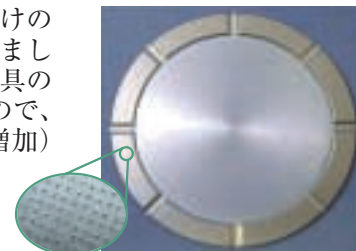
工業機材事業

1. 営業概況

研削砥石・CBN工具につきましては、国内、海外ともに自動車業界向けの売上げが伸長し、国内のベアリング・鉄鋼業界向けも堅調に推移いたしました。また、国内市場及び米国市場におけるIT産業向けのダイヤモンド工具の売上げと国内市場の回復を受けた研磨布紙の売上げが増加いたしましたので、工業機材事業の連結売上高は、208億4千9百万円（前年同期比6.4%増加）となりました。

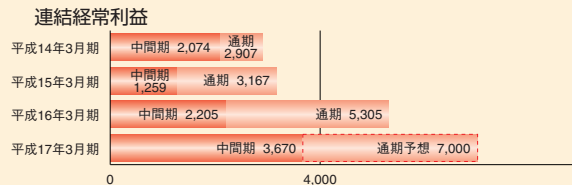
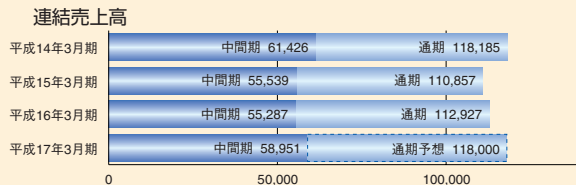
2. 事業方針

顧客の需要増に対応する生産体制の確立と新商品の市場投入により一層の拡販に努めてまいります。また、中国と米国をはじめとする海外市場に対して更に積極的な販売活動を展開してまいります。



グリットエース CMP パッドコンディショナー

連結売上高及び連結経常利益（単位：百万円）



食器事業

1. 営業概況

北米市場におきましては、低価格品の流入による価格競争の激化により百貨店における売上げが大幅に減少いたしました。一方、欧州・アジア市場における売上げは航空用食器の受注回復により堅調に推移いたしました。一方、国内市場におきましては、一般家庭用食器及びギフト用食器の売上げは減少に歯止めがかかりましたものの、ホテル・レストラン向け業務用食器の売上げが微減となりましたので、食器事業の連結売上高は、104億4千2百万円（前年同期比8.9%減少）となりました。



ノリタケボーンチャイナ
“クイーンズヘリテージ”

2. 事業方針

販売面におきましては、国内の百貨店におけるノリタケコーナーの活性化を進めるとともに、製造面におきましては、質を優先するものづくりに徹することにより、国内、海外におけるノリタケブランドの更なる高揚と収益体質の確立に努めてまいります。

電子事業

1. 営業概況

国内市場におきましては、車載純正市場向け及びカーオーディオ向けが順調に推移し、売上げは増加いたしました。また、海外市場におきましては、欧州市場における売上げは減少いたしましたものの、北米市場におけるオーディオ向け及び遊技機向けの売上げが堅調に推移いたしましたので、電子事業の連結売上高は、54億3千6百万円（前年同期比6.5%増加）となりました。



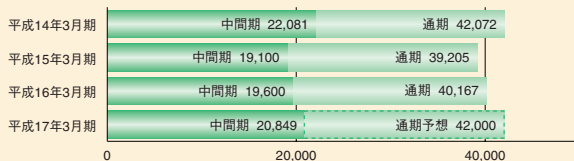
グラフィックモジュール

2. 事業方針

国内市場におきましては、POSシステム及び遊技機市場への拡販とカーオーディオ市場への新商品の投入を推進してまいります。海外市場につきましては、グラフィックモジュールの製品ラインアップの強化と中国における販売体制の構築を進めてまいります。

事業セグメント別連結売上高（単位：百万円）

工業機材事業



食器事業



セラミック・マテリアル事業

1. 営業概況

電子用ペースト及び電子部材につきましては、携帯電話・PDPなどの電子部品市場への新商品の投入により、売上げは大幅に増加いたしました。また、デンタル関連商品及び車載用厚膜印刷回路基板の売上げも順調に推移いたしましたので、セラミック・マテリアル事業の連結売上高は、135億9千8百万円（前年同期比12.4%増加）となりました。

2. 事業方針

新商品の量産化と新規顧客への拡販に注力するとともに、商品ごとの市場動向と自社のコア技術及びコスト対応力を見極め、好調な部門に経営資源を効果的に投入して収益の拡大に努めてまいります。



電子用ペースト

環境エンジニアリング事業

1. 営業概況

遠赤外線ヒーター応用装置及び高能率焼成炉は、国内、海外ともにIT産業向けの売上げが好調に推移いたしました。また、スタティックミキサー応用装置はIH加熱装置等の新商品の投入もあり堅調に推移し、自動車業界向けの超硬丸鋸切断機の売上げも増加いたしましたので、環境エンジニアリング事業の連結売上高は、86億2千5百万円（前年同期比22.9%増加）となりました。

2. 事業方針

遠赤外線ヒーター応用装置及び高能率焼成炉につきましては、ディスプレイ・半導体・電池材料等の成長分野への事業集中を進めるとともに、中国をはじめとするアジア市場に対する販売体制の強化を図ってまいります。また、スタティックミキサー応用装置・濾過装置・研削機械につきましては、引き続き付加価値の高い新商品の開発に取り組むとともに、より一層の拡販に努めてまいります。

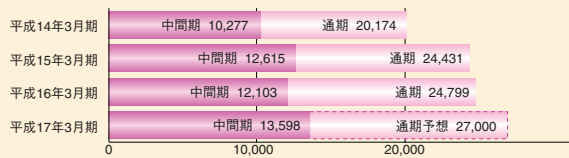


LCD加熱システム

電子事業



セラミック・マテリアル事業



次に、株式会社ノリタケカンパニーリミテド単独の平成16年度中間期の経営成績についてご報告申し上げます。

当中間期売上高は、404億4千5百万円（前年同期比11.2%増加）、経常利益は、12億7千万円（前年同期比47.6%増加）、中間純利益は、5億5千万円（前年同期比29.5%減少）となりました。

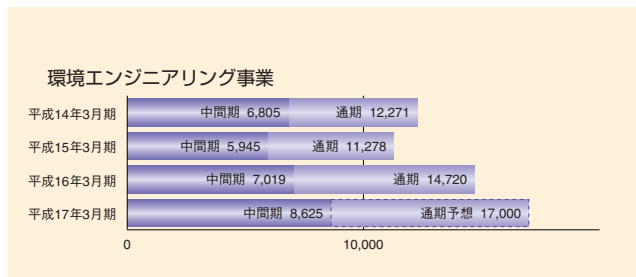
なお、中間配当金につきましては、前年同様1株につき4円50銭を継続することといたしました。

ノリタケグループは、新たに平成16年度を初年度として策定いたしました第6次中期3カ年計画に基づき、収益力を高めるための構造改革の継続とノリタケグループが得意とする分野の更なる強化を通して業績の飛躍に向けた成長路線を確立するとともに、信頼されるノリタケグループを目指し、コンプライアンスを含むリスク管理体制の強化を図ってまいります。

株主の皆様には、このようなノリタケグループの取り組みに対しご理解をいただきますとともに、今後とも多大なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役
社 長 赤 羽 昇



株式会社ノリタケカンパニーリミテド第124期中間期連結決算概要

中間連結貸借対照表

[平成16年9月30日現在]

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-------------------|----------------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | | 百万円 |
| 流 動 資 産 | 67,041 | 流 動 負 債 | 40,846 |
| 現 金 及 び 預 金 | 14,916 | 支 払 手 形 及 び 買 掛 金 | 16,659 |
| 受 取 手 形 及 び 売 掛 金 | 31,164 | 短 期 借 入 金 | 14,517 |
| た な 卸 資 産 | 16,699 | 1 年 内 返 済 長 期 借 入 金 | 3,314 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 1,531 | 未 払 法 人 税 等 | 1,290 |
| そ の 他 | 2,974 | 未 払 費 用 | 1,471 |
| 貸 倒 引 当 金 | △245 | 賞 与 引 当 金 | 1,275 |
| | | そ の 他 | 2,317 |
| 固 定 資 産 | 60,224 | 固 定 負 債 | 14,673 |
| 有 形 固 定 資 産 | 36,430 | 長 期 借 入 金 | 4,725 |
| 建 物 及 び 構 築 物 | 12,481 | 繰 延 税 金 負 債 | 3,193 |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 | 6,999 | 退 職 給 付 引 当 金 | 5,318 |
| 土 地 | 14,233 | 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 | 670 |
| 建 設 仮 勘 定 | 279 | 連 結 調 整 勘 定 | 520 |
| そ の 他 | 2,435 | そ の 他 | 245 |
| 無 形 固 定 資 産 | 321 | 負 債 合 計 | 55,520 |
| 投 資 其 他 の 資 産 | 23,472 | 少 数 株 主 持 分 | 6,823 |
| 投 資 有 価 証 券 | 21,405 | 資 本 の 部 | |
| 繰 延 税 金 資 産 | 1,010 | 資 本 金 | 15,632 |
| そ の 他 | 1,337 | 資 本 剰 余 金 | 18,833 |
| 貸 倒 引 当 金 | △280 | 利 益 剰 余 金 | 31,786 |
| 資 産 合 計 | 127,265 | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 6,083 |
| | | 為 替 換 算 調 整 勘 定 | △4,803 |
| | | 自 己 株 式 | △2,609 |
| | | 資 本 合 計 | 64,922 |
| | | 負債・少数株主持分及び資本合計 | 127,265 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

[自平成16年4月1日]
[至平成16年9月30日]

| | | 百万円 |
|-----|--------------|--------|
| I | 売上高 | 58,951 |
| II | 売上原価 | 40,626 |
| | 売上総利益 | 18,324 |
| III | 販売費及び一般管理費 | 15,010 |
| | 営業利益 | 3,314 |
| IV | 営業外収益 | 536 |
| | 受取利息 | 13 |
| | 受取配当金 | 148 |
| | 受取賃料 | 28 |
| | 連結調整勘定償却額 | 186 |
| | その他 | 158 |
| V | 営業外費用 | 179 |
| | 支払利息 | 85 |
| | その他 | 93 |
| | 経常利益 | 3,670 |
| VI | 特別利益 | 565 |
| | 固定資産売却益 | 43 |
| | 投資有価証券売却益 | 444 |
| | 保険金収入 | 73 |
| | その他 | 3 |
| VII | 特別損失 | 509 |
| | 固定資産処分損 | 401 |
| | 投資有価証券評価損 | 1 |
| | その他 | 106 |
| | 税金等調整前中間純利益 | 3,726 |
| | 法人税、住民税及び事業税 | 1,207 |
| | 法人税等調整額 | 139 |
| | 法人税等計 | 1,346 |
| | 少数株主利益 | 322 |
| | 中間純利益 | 2,057 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

〔自平成16年4月1日〕
〔至平成16年9月30日〕

| | | 百万円 |
|-----------------------------|---------------|-----|
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 1. 税金等調整前中間純利益 | 3,726 | |
| 2. 減価償却費 | 1,641 | |
| 3. 貸倒引当金の増減(減少:△) | 16 | |
| 4. 退職給付引当金の増減(減少:△) | 51 | |
| 5. 役員退職慰労引当金の増減(減少:△) | △0 | |
| 6. 受取利息及び配当金 | △162 | |
| 7. 支払利息 | 85 | |
| 8. 連結調整勘定償却額 | △186 | |
| 9. 有価証券及び投資有価証券売却損益 | △444 | |
| 10. 有価証券及び投資有価証券評価損益 | 1 | |
| 11. 有形及び無形固定資産除売却損益 | 358 | |
| 12. 売上債権の増減(増加:△) | △352 | |
| 13. たな卸資産の増減(増加:△) | 9 | |
| 14. 仕入債務の増減(減少:△) | 60 | |
| 15. その他 | 588 | |
| 小計 | 5,392 | |
| 16. 利息及び配当金の受取額 | 163 | |
| 17. 利息の支払額 | △87 | |
| 18. 法人税等の支払額 | △879 | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,589 | |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 1. 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,683 | |
| 2. 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 38 | |
| 3. 投資有価証券の取得による支出 | △0 | |
| 4. 投資有価証券の売却による収入 | 577 | |
| 5. 貸付金の回収による収入 | 0 | |
| 6. その他 | 202 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △865 | |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 1. 短期借入金金の純減少額 | △685 | |
| 2. 長期借入金金の返済による支出 | △0 | |
| 3. 配当金の支払額 | △832 | |
| 4. 自己株式の取得による支出 | △6 | |
| 5. その他 | △63 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,589 | |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 14 | |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | 2,149 | |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,375 | |
| VII 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 14,524 | |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社ノリタケカンパニーリミテド第124期中間期単独決算概要

中間貸借対照表

[平成16年9月30日現在]

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-------------|----------------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | | 百万円 |
| 流動資産 | 38,344 | 流動負債 | 28,966 |
| 現金及び預金 | 7,074 | 支払手形 | 407 |
| 受取手形 | 4,203 | 買掛金 | 7,921 |
| 売掛金 | 16,343 | 短期借入金 | 17,173 |
| 原材料 | 27 | 1年内返済長期借入金 | 1,300 |
| 繰延税金資産 | 716 | 未払金 | 397 |
| 短期貸付金 | 5,797 | 未払法人税等 | 52 |
| その他の流動資産 | 4,453 | 未払費用 | 511 |
| 貸倒引当金 | △271 | 賞与引当金 | 167 |
| | | その他の流動負債 | 1,035 |
| | | 固定負債 | 7,892 |
| 固定資産 | 63,620 | 長期借入金 | 4,700 |
| 有形固定資産 | 16,371 | 繰延税金負債 | 2,175 |
| 建物 | 6,449 | 退職給付引当金 | 575 |
| 窯 | 58 | 役員退職慰労引当金 | 441 |
| 機械及び装置 | 416 | 負債合計 | 36,858 |
| 車両及び運搬具 | 4 | 資本の部 | |
| 工具器具備品 | 606 | 資本金 | 15,632 |
| 土地 | 8,794 | 資本剰余金 | 18,810 |
| 建設仮勘定 | 41 | 資本準備金 | 18,810 |
| 無形固定資産 | 133 | その他資本剰余金 | 0 |
| ソフトウェア | 93 | 自己株式処分差益 | 0 |
| 電話加入権 | 39 | 利益剰余金 | 27,657 |
| 投資その他の資産 | 47,115 | 利益準備金 | 3,479 |
| 投資有価証券 | 18,947 | 任意積立金 | 22,576 |
| 子会社株式及び出資 | 22,151 | 別途準備金 | 22,500 |
| 出資金及び長期貸付金 | 6,744 | 固定資産圧縮積立金 | 76 |
| その他の投資 | 785 | 中間未処分利益 | 1,601 |
| 貸倒引当金 | △1,513 | 株式等評価差額金 | 5,616 |
| | | 自己株式 | △2,609 |
| 合計 | 101,965 | 資本合計 | 65,107 |
| | | 合計 | 101,965 |

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 16,550百万円
 2. 手形信託譲渡高 1,191百万円
 3. 1株当たりの中間純利益 3円63銭

中間損益計算書

[自平成16年4月1日
至平成16年9月30日]

| | | 百万円 | 百万円 |
|--------------|------------|--------|--------|
| 経常損益の部 | 営業収益 | | 40,445 |
| | 売上高 | 40,445 | |
| | 営業費用 | | 40,082 |
| | 売上原価 | 37,257 | |
| | 販売費及び一般管理費 | 2,824 | |
| | 営業利益 | | 363 |
| | 営業外収益 | | 1,492 |
| | 受取利息及び配当金 | 754 | |
| | 雑収益 | 737 | |
| | 営業外費用 | | 584 |
| 支払利息 | 63 | | |
| 雑損失 | 521 | | |
| 経常利益 | | 1,270 | |
| 特別損益部 | 特別利益 | | 483 |
| | 投資有価証券売却益 | 440 | |
| | 固定資産売却益 | 42 | |
| | その他 | 0 | |
| | 特別損失 | | 1,098 |
| | 固定資産処分損 | 66 | |
| 子会社投融資損 | 1,023 | | |
| その他 | 8 | | |
| 税引前中間純利益 | | 655 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6 | | |
| 法人税等調整額 | 99 | 105 | |
| 中間純利益 | | 550 | |
| 前期繰越利益 | | 1,051 | |
| 中間未処分利益 | | 1,601 | |

(注) 中間貸借対照表及び中間損益計算書の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

[平成16年9月30日現在]

創 立 明治37年1月1日 (合名会社)
 設 立 大正6年7月20日
 資 本 金 156億3,230万4,225円
 本 社 名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
 在籍従業員数 1,317名 (連結5,839名)

(注) 在籍従業員数のうち、グループ会社への出向者は1,131名であります。

連結対象会社 Noritake Co., Inc.、株式会社ノリタケボンデッドアブレーシブ、株式会社ノリタケスーパーアブレーシブ、株式会社ノリタケコーテッドアブレーシブ、株式会社ノリタケテーブルウェア、日本陶器株式会社、ノリタケ伊勢電子株式会社、共立マテリアル株式会社、ノリタケ機材株式会社、株式会社ノリタケエンジニアリングを含む連結対象子会社44社、持分法適用会社1社

役員

[平成16年9月30日現在]

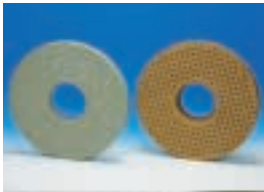

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 代表取締役 | 岩崎 隆 | 常務取締役 | 山田 陽一 |
| 代表取締役 | 赤羽 昇 | 常務取締役 | 鈴木 洋一 |
| 取締役 | 海川 辰男 | 常務取締役 | 佐藤 充宏 |
| 専務取締役 | 杉山 公一 | 常勤監査役 | 種村 俊男 |
| 専務取締役 | 川口 弘 | 常勤監査役 | 妹尾 洋一 |
| 常務取締役 | 土森 道雄 | 監査役 | 加藤 和也 |
| | | 監査役 | 岡本 博 |
| | | | 三宅 |

(注) 監査役のうち、岡本和也、三宅博の両氏は株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

会計監査人

中央青山監査法人

主な事業内容

| | 工業機材 | 食器 | 電 |
|------|---|--|------------------------------|
| 主な製品 | 研削砥石、ダイヤモンド工具、CBN工具、ドレッサ、研磨布紙、研磨プレート、研削・研磨関連商品 (研削油、バレル等)  セラミック砥粒ディスク砥石 | 陶磁器食器、クリスタルガラス食器、金属食器、メラミン食器、その他食器関連商品、装飾・美術品等  ノリタケチャイナ “まほら” | 蛍光表示管及び同モジュール、大型高精細印刷技術応用製品等 |

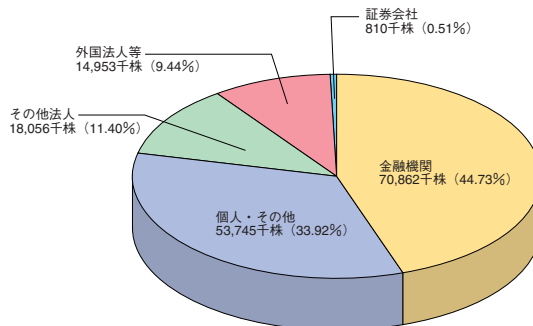
株式の状況

[平成16年9月30日現在]

会社が発行する株式の総数 397,500,000株
 発行済株式の総数 158,428,497株
 株主数 18,526名

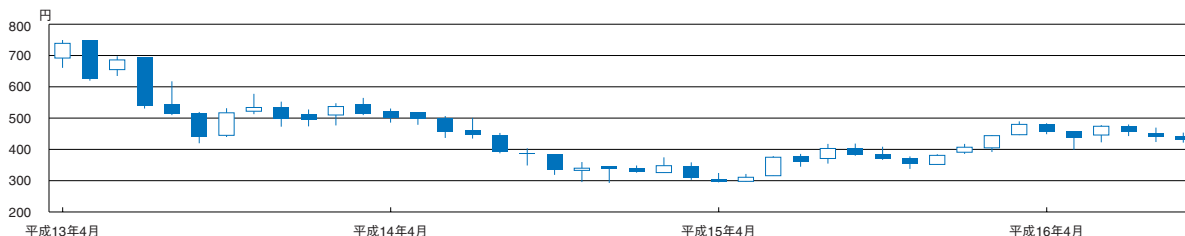
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------|---------|---------|
| 明治安田生命保険相互会社 | 12,095 | 7.63 |
| 第一生命保険相互会社 | 11,700 | 7.39 |
| 日本生命保険相互会社 | 11,128 | 7.02 |
| 株式会社UFJ銀行 | 4,613 | 2.91 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口 | 4,291 | 2.71 |
| 東京海上火災保険株式会社 | 4,039 | 2.55 |
| 株式会社東京三菱銀行 | 3,961 | 2.50 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口 | 3,242 | 2.05 |
| 三菱信託銀行株式会社 | 3,004 | 1.90 |
| 東陶機器株式会社 | 2,707 | 1.71 |

所有者別株式分布状況



- (注) 1. 当社は自己株式7,077千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 2. 証券取引法の「株券等の大量保有の状況に関する開示」制度に基づき、マラソン・アセット・マネジメント・(サービス)・リミテッドから平成15年8月31日現在12,219千株(持株比率7.71%)所有している旨の報告を受けていますが、当社としては、中間期末時点における実質所有株式数の確認ができないため、上記の大株主には含めておりません。
 3. 東京海上火災保険株式会社は、平成16年10月1日付で日動火災海上保険株式会社と合併して東京海上日動火災保険株式会社となっております。なお、当中間期末日における日動火災海上保険株式会社の持株数は559千株(持株比率0.35%)であります。

株価の推移 (東京証券取引所)



| 子 | セラミック・マテリアル | 環境エンジニアリング |
|---|---|--|
|  メッセージ用モジュール | 電子用ペースト、厚膜印刷回路基板、ファインセラミックス、セラミック資材(石膏、水金、転写紙等)、デンタル関連商品、セラミック原料、電子部材等  歯科材料 | 遠赤外線ヒーター及び応用装置、高能率焼成炉、スタティックミキサー及び応用装置、濾過装置、光触媒脱臭装置、研削機械、バルブモールド製品・型・製造装置、下水道用セラミックパイプ、耐火物等  チューブ型H加熱装置 |

株式のしおり

| | |
|-----------------------|---|
| 決算期 | 3月31日（年1回） |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書の開示は、当社ホームページ（ http://www.noritake.co.jp/kessan/ ）に掲載しております。 |
| 配当金 | 利益配当金支払株主確定日 3月31日 中間配当金支払株主確定日 9月30日 |
| 基準日 | 毎年3月31日 その他必要のある場合は、あらかじめ公告いたします。 |
| 名義書換代理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社証券代行部 |
| 【郵便物送付先】 【電話お問合せ先】 | 〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-707-696（フリーダイヤル） |
| 同取次所 | 三菱信託銀行株式会社全国各支店 |
| 単元未満株式の 買取請求・買増請求 | 単元未満株式（1,000株未満株式）の買取請求・買増請求は、上記名義書換代理人事務取扱場所及び取次所にてお取扱いいたしております。ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。 |

【住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求・買増請求に必要な各用紙並びに株式の相続
手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用
ください。】